

学級活動 基本の「き」

(その2)

学級活動(1) 学級や学校の生活づくり 小学校

～ 1 活動 1 議題 ～

今、子どもたちは集会活動を企画しているところです。
しかし、話合いで決定したい内容がたくさんあります。

1回の集会活動に対し、何回かに分けて学級会で話し
合いたいのですが…。



「1 活動 1 議題」が基本です。

(一つの活動に対し、議題としてあげて学級活動で話し合うのは1回)

このような質問をよく受けます。確かに、児童自身に決定させたいことはたくさんあります。この場合、何をするのか、どのような方法で行うか、一人一人どのような役割をもつか……。活動充実のために、徹底的に児童に話し合いをさせたい、という担任の先生方の気持ちはよくわかります。

しかし、基本的には、上記のように

一つの活動に対し、議題としてあげて学級活動で話し合うのは1回です。

これは、活動経験が少なくならないようにするためです。学級活動の時間は、年間35時間(小学校1年生は34時間)しかありません。集会自体も1時間とカウントしますので、集会のための学級会での1時間の話し合いを含めると、少なくとも2時間は必要になります。学級活動には、他にも議題や指導内容がありますので、一つの活動に、数時間も話し合いを行うのは、好ましくありません。

学級会で話し合う内容は、45分間かけて全員で話し合う価値のあるものを、計画委員会等で二～三つに絞るのがよいでしょう。他の内容については、次のようにするとよいでしょう。

- 教師が決める
- 計画委員会で決める などして
それを、短学活などで、学級全体の承認を得る。